

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【001】	4	p. 234	具体的事実に基づかず頭の中で組み立てられただけのものは科学的ではない		45-A-020
【002】	1	p. 235	自律の尊重は傷病者の自己決定権を尊重することである	必修	45-B-007
【003】	2	p. 235	特定行為の実施は“善行の原則”に従うものである	必修	46-B-005
【004】	1	p. 236	“リスボン宣言”は患者の有する主要な権利を述べたものである	基本	45-A-025
【005】	5	p. 236	インフォームドコンセントが必須な内容は？	基本	44-A-024
【006】	2, 5	p. 237	改正臓器移植法における臓器提供の要件は？		43-A-023
【007】	2	p. 237	糖尿病は臓器提供が可能な併存症である		46-A-024
【008】	4	p. 238	WHO 憲章における健康の定義	基本	44-A-017
【009】	4	p. 239	厚生労働省の管轄する業務	基本	42-A-018
【010】	3	p. 239	わが国の高齢者(65歳以上)人口の割合	必修	43-B-004
【011】	2	p. 239	主な死因別にみた死亡率の年次推移の読み取り	必修	42-B-004
【012】	1	p. 240	15～19歳の死因統計の第1位	必修	42-B-012
【013】	2, 3	p. 240	交通事故と脳血管疾患による死亡率は減少傾向である		46-A-018
【014】	5	p. 240	疾病構造の変化で増加傾向にあるものは？	基本	43-A-017
【015】	4	p. 241	訪問看護は介護保険または医療保険が適用される		46-A-016
【016】	4	p. 241	医療計画における「5 疾病」以外の疾病の選択	基本	43-A-016
【017】	2	p. 242	第7次医療計画における5 疾病に“感染症”は含まれない	基本	45-A-022
【018】	2	p. 242	在宅医療には在宅人工呼吸療法が含まれる	必修	45-B-004
【019】	1	p. 243	日本の病床数は欧米先進国と比べて多い	基本	44-A-019
【020】	4	p. 243	医療法で定められていない施設は医療提供施設ではない	必修	44-B-004
【021】	2	p. 244	労働災害で死亡者が最も多いのは墜落・転落である	基本	45-A-016
【022】	4	p. 244	精神科病院への入院形態で家族などの同意が必要なものは？	基本	44-A-016
【023】	3	p. 244	患者本人の同意が必要な入院形態は“任意入院”である	必修	46-B-004
【024】	2	p. 245	社会保障を構成する要素	基本	42-A-019
【025】	3	p. 245	生活保護における医療扶助は国民医療費に含まれる		46-A-017
【026】	2	p. 246	国民医療費に含まれる費用は？		43-A-018
【027】	3	p. 246	後期高齢者の一部負担金は1割である	基本	44-A-018
【028】	2	p. 247	介護支援専門員は「ケアマネジメント」を担う専門職である	基本	45-A-019
【029】	4	p. 247	自立支援医療は公費負担医療制度に含まれる		46-A-019
【030】	2	p. 248	児童虐待で最も多い加害者は？		43-A-019
【031】	4	p. 248	特別養護老人ホームを規定する法律	基本	42-A-017
【032】	1	p. 249	高齢者虐待防止法に明記されている通報窓口となる機関	基本	42-A-089
【033】	4	p. 249	「老健」は常勤医師の配置が義務付けられている	基本	45-A-018
【034】	5	p. 249	生活保護制度は「憲法第25条第1項：国民の生存権」に基づく	基本	45-A-017
【035】	2	p. 251	蛋白質合成を行う細胞小器官	基本	42-A-001
【036】	4	p. 251	細胞外液に最も多く含まれる電解質	必修・頻出	42-B-002
【037】	5	p. 252	血清は血漿から凝固因子の大部分が除かれたもの	基本	44-A-001
【038】	3	p. 253	成人の体液の内訳と体重に対する比率	頻出	43-A-002
【039】	4	p. 253	細胞内液に最も多く含まれる陽イオンは？	必修	44-B-001
【040】	1	p. 254	解剖学的基本体位(解剖学的正位)は人体を扱う場合の基準の姿勢である	基本	43-A-003
【041】	2	p. 254	関節運動の名称を正しく表現する	基本	44-A-010
【042】	3	p. 255	爪先が外側を向く股関節の運動は外旋である		46-A-006
【043】	1	p. 255	剣状突起が含まれる骨	必修	43-B-002
【044】	3	p. 255	前頸三角の一部の凹部では総頸動脈が触知できる	基本	45-A-004
【045】	4	p. 256	前頸前方三角は正中線、下顎骨下縁、胸鎖乳突筋前縁で囲まれた部分をいう		46-A-098
【046】	1	p. 256	心窩部の領域にある臓器	必修	44-B-002
【047】	4	p. 257	外果は腓骨の外側下端部分で足関節を構成する		46-A-002
【048】	5	p. 257	頤(オトガイ)は下顎の中央前方の隆起である	必修	46-B-002
【049】	5	p. 258	後腹膜に位置する臓器	必修	43-B-001
【050】	2	p. 258	生体内の神経伝達物質でないものは？	基本	42-A-006

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【051】	1	p. 259	海馬は大脳辺縁系の一部である		46-A-007
【052】	2	p. 259	顔面の感覚を伝える脳神経は三叉神経である	基本	44-A-006
【053】	3	p. 260	交感神経の興奮により瞳孔散大筋が収縮する		46-A-001
【054】	5	p. 260	脳神経と機能の組合せ	基本	43-A-004
【055】	2	p. 260	脊髄損傷における損傷レベルの評価	基本	42-A-033
【056】	1	p. 261	デルマトームは脊髄神経が支配している皮膚感覚の領域を模式図化	基本	45-A-003
【057】	1, 5	p. 261	交感神経系の興奮作用	基本	42-A-002
【058】	2	p. 262	急性緑内障発作は房水の流れが遮断されることで起こる	基本	45-A-009
【059】	4	p. 262	視覚経路の順序は？	基本	43-A-005
【060】	4	p. 263	平衡感覚器は内耳にある三半規管と前庭である	基本	44-A-009
【061】	3	p. 263	胸腔内圧は吸気時により陰圧になる	必修	45-B-002
【062】	3	p. 263	気管・気管支の構造	基本	42-A-005
【063】	4	p. 264	舌圧子を用いて確認できる口腔内の解剖学的構造物	必修	42-B-001
【064】	3	p. 264	声帯は喉頭の内部にある		46-A-010
【065】	2	p. 265	横隔神経の麻痺は上位頸髄損傷で起こる	基本	44-A-008
【066】	5	p. 265	吸気筋の補助筋として胸鎖乳突筋が使われる	基本	45-A-008
【067】	3	p. 265	PO ₂ とSO ₂ との関係(酸素解離曲線)	基本	42-A-039
【068】	1	p. 266	酸素解離曲線はPaO ₂ 値とSO ₂ 値(SpO ₂ 値)の関係を示している	基本	44-A-030
【069】	2	p. 267	全血液量における静脈血の割合	基本	43-A-009
【070】	3	p. 267	静脈血は肺動脈を介して肺に送られる	必修	45-B-001
【071】	4	p. 267	体表から触知できる動脈	基本	42-A-007
【072】	4	p. 268	体表から触知可能な動脈は？	基本	44-A-002
【073】	3	p. 268	横紋筋かつ不随意筋で構成される組織	基本	42-A-010
【074】	5	p. 268	プルキンエ線維は心室筋全体に分布する伝導ネットワーク	基本	45-A-002
【075】	1	p. 269	臍静脈は胎盤から胎児の臍を経て、胎児へ血液を送る静脈である		46-A-003
【076】	3	p. 270	食道の構造およびその位置	基本	43-A-007
【077】	4	p. 270	胃は食道と噴門でつながっている		46-A-005
【078】	3	p. 271	栄養素が吸収される部位	基本	42-A-004
【079】	4	p. 271	十二指腸と空腸の境界は？	基本	44-A-003
【080】	3	p. 272	虫垂は盲腸の下端に付属する突起物である	基本	45-A-007
【081】	3	p. 272	腎臓の位置と構造	基本	44-A-004
【082】	1	p. 273	尿の生成過程ではじめに濾過を行う場所は糸球体である	基本	45-A-005
【083】	5	p. 273	尿路の構造と機能	基本	42-A-003
【084】	3	p. 274	最終月経初日を妊娠0週0日として、妊娠週数を算出する	基本	44-A-086
【085】	3	p. 274	内分泌系の特徴で誤っているものは？	基本	43-A-010
【086】	3	p. 275	バソプレシンは循環血液量を増加させる作用がある		46-A-008
【087】	2, 4	p. 276	核のない血球成分は？		43-A-008
【088】	4	p. 276	海綿骨は加齢や閉経により最初に減少する部分である		46-A-004
【089】	2, 5	p. 277	関節の形状	基本	43-A-001
【090】	2	p. 277	後縦靭帯は脊柱管の前壁を縦走する靭帯である	基本	45-A-006
【091】	2	p. 277	脊柱の生理的彎曲は頸椎から仙骨部まで前→後→前→後と彎曲している	基本	44-A-007
【092】	5	p. 278	皮膚固有の受容器をもたない知覚は？	基本	42-A-008
【093】	5	p. 278	ミネラルに該当する元素は？	基本	43-A-006
【094】	1, 5	p. 278	ブドウ糖の好気性代謝における代謝産物	基本	42-A-009
【095】	3	p. 279	成人の基礎代謝量において中枢神経が消費する割合は？	基本	44-A-005
【096】	3	p. 279	酸素分圧は細胞に到達するプロセスで低下していく	基本	45-A-001
【097】	3	p. 279	ミトコンドリア内では酸素を用いてATPを生産する	必修	46-B-001
【098】	3, 4	p. 280	体液のpHは「ヘンダーソン・ハッセルバルヒの式」で規定される	基本	45-A-010
【099】	4	p. 280	動脈血のpHは7.35～7.45の間で調整される		46-A-009
【100】	4	p. 281	急性疾患と慢性疾患の区別	必修	43-B-003

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【101】	2	p. 282	慢性疾患に分類されるのは？	基本	44-A-015
【102】	4	p. 283	急性疾患に分類されるのは？	必修	45-B-003
【103】	1	p. 283	糖尿病の3大合併症		43-A-012
【104】	3	p. 284	メタボ健診(特定健康診査)の対象年齢	基本	42-A-013
【105】	5	p. 284	三次予防はリハビリテーションなど疾病からの社会復帰を支援する医療行為…	基本	45-A-015
【106】	2, 4	p. 284	一次予防は疾患予防や健康増進を行うことで原因の排除やリスク低減を図る…		46-A-014
【107】	2	p. 285	退行性病変に該当する形態的または機能的変化		43-A-014
【108】	5	p. 285	アポトーシスとは“プログラムされた細胞死”である	基本	45-A-012
【109】	4	p. 286	炎症の急性期は微小循環系の変化と細胞反応からなる	基本	44-A-011
【110】	3	p. 286	好中球を中心とした白血球は炎症部位に遊走する	基本	45-A-011
【111】	3	p. 287	ウイルスは細胞に感染することで自己増殖(複製)をする		46-A-012
【112】	1	p. 287	ウイルスによる感染症	頻出	42-A-015
【113】	5	p. 287	狂牛病はプリオン病の一種である	基本	45-A-014
【114】	1	p. 288	飛沫核感染の感染経路	必修	42-B-003
【115】	3	p. 288	垂直感染の感染様式	基本	43-A-015
【116】	2	p. 289	結核、麻疹、水痘は空気感染を起こす代表的な感染症	基本	44-A-012
【117】	2	p. 289	塞栓症を起こす疾患	基本	42-A-012
【118】	1	p. 290	心臓ポンプ機能の低下で毛細血管内圧が上昇して浮腫を生じる	基本	44-A-013
【119】	2	p. 291	ビタミンC欠乏により血管が脆弱になり出血を引き起こす		46-A-015
【120】	1	p. 291	二次治癒では組織の欠損部分に肉芽組織が形成される		46-A-013
【121】	4	p. 291	創傷治癒過程の流れ	基本	42-A-011
【122】	2, 5	p. 292	死後2時間でみられる死体現象	頻出	43-A-011
【123】	2	p. 292	死後硬直は顎関節から出現しはじめることが多い	基本	45-A-013
【124】	2	p. 292	死後硬直と死斑の出現	頻出	42-A-014
【125】	3	p. 293	死後、循環が停止したことで血液は重力に従って下方に溜まる	必修	44-B-003
【126】	5	p. 293	明らかな死亡の判断基準で6項目すべてが該当する場合	基本	44-A-014
【127】	4	p. 294	老衰は「病死および自然死」に分類される		46-A-011
【128】	2	p. 295	安全域が最も狭い薬物は“毒物”である		45-A-044
【129】	3	p. 296	アドレナリンの薬理作用(α 受容体, β 受容体)	必修	43-B-018
【130】	5	p. 296	重篤なアナフィラキシーに対してはエピペン®投与が絶対適応である	基本	44-A-079
【131】	4	p. 297	乳酸リンゲル液は細胞外液の補給・補正を目的に用いる	必修	45-B-018
【132】	4	p. 297	乳酸リンゲル液に最も含まれている電解質は細胞外液に最も多い電解質と同…	必修	46-B-018
【133】	1	p. 298	生理学的検査は直接検査機器を装着することでデータを収集する検査	基本	45-A-045
【134】	4	p. 298	パニック値に該当する検査値		43-A-044
【135】	4	p. 299	尿簡易検査の所見と原因	やや難問	42-A-044
【136】	2	p. 299	MRIは脳梗塞の超早期から診断が可能	基本	44-A-045
【137】	3	p. 301	傷病者の搬送および受け入れ実施基準を策定する協議会は“都道府県”に設…	基本	45-A-021
【138】	5	p. 301	救命の連鎖(心停止の早期認識と通報)	基本	42-A-025
【139】	4	p. 301	COVID-19への対応では人工呼吸を行わない	基本	45-A-030
【140】	4	p. 302	救命の連鎖における要素の理解	必修	43-B-005
【141】	1, 4	p. 302	救急車による救急搬送人員の統計	基本	42-A-024
【142】	1	p. 303	救急自動車による救急搬送人員の統計		43-A-021
【143】	3	p. 303	救急告示病院の認定者	必修	42-B-005
【144】	4	p. 303	「救急病院を定める省令」にある救急病院の要件とは？	基本	44-A-025
【145】	3	p. 304	救急告示病院の認定は“都道府県知事”が行う		46-A-021
【146】	5	p. 304	特定行為はオンラインメディカルコントロールによる具体的指示が必要	基本	44-A-020
【147】	3	p. 304	搬送先医療機関選定の助言は直接的MCに該当する		46-A-020
【148】	3, 4	p. 305	プロトコールとは？	基本	43-A-022
【149】	4	p. 305	MC協議会は消防機関が行う救急業務を医学的に保証するものである	基本	45-A-026
【150】	2	p. 305	多数傷病者対応における先着隊の役割	必修	43-B-027

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【151】	2	p. 306	災害初動時に最先着救急隊が報告すべき情報はMETHANE	基本	44-A-026
【152】	4	p. 306	一次トリアージで確認する項目は？	必修	43-B-006
【153】	4	p. 307	一次トリアージでは簡便な生理学的評価により傷病者をふるい分ける	必修	44-B-005
【154】	4	p. 307	収縮期血圧90mmHg未満は緊急治療群に該当する	必修	46-B-007
【155】	3	p. 308	DMAT〈災害派遣医療チーム〉派遣を要請する機関	必修	42-B-007
【156】	2	p. 308	ゾーニングは風向きを考慮して設定する		46-A-044
【157】	2	p. 309	通信指令員による心肺蘇生法の口頭指導	必修	43-B-008
【158】	4	p. 309	現場活動の流れ(状況評価から救護活動まで)	基本	43-A-027
【159】	3	p. 309	二次災害の危険が高い現場では安全管理体制を確立して活動する	必修	45-B-009
【160】	5	p. 310	全身熱傷(外傷)傷病者に対する初期評価	基本	42-A-022
【161】	1	p. 310	初期評価ではABCDの判断をおおまかに行う	必修	46-B-016
【162】	3	p. 311	救急救命処置録には指示を受けた医師の氏名を記載する必要がある		46-A-022
【163】	3	p. 311	ウツタイン様式は心肺停止傷病者の記録のために国際的に統一された統計基準	必修	45-B-005
【164】	5	p. 312	おもちゃへの興味の示し方でも小児の意識状態を把握できる	基本	45-A-024
【165】	3	p. 312	DNARの生前意思が提示される傷病者の背景は？	必修	44-B-006
【166】	2	p. 313	救急救命士法の基本的理念を定めている法令	基本	42-A-016
【167】	5	p. 313	救急救命士に関連する法的規定	基本	43-A-024
【168】	5	p. 314	救急救命処置は「救急救命士法 第2条」で定義される		46-A-026
【169】	5	p. 314	包括的指示により行うことができる救急救命処置は？	必修	43-B-013
【170】	3, 4	p. 316	医師の具体的指示が必要な救急救命処置	基本	42-A-021
【171】	4	p. 316	声門上気道デバイスは呼吸機能停止傷病者に使用可能である		46-A-042
【172】	1	p. 316	ブドウ糖溶液の投与は“特定行為”に該当する	必修	46-B-006
【173】	2, 5	p. 317	救急救命士法に定められている「欠格事由」		43-A-025
【174】	2	p. 317	救急救命士の病院実習の主な目的でないのは？		43-A-020
【175】	4	p. 318	ヒューマンエラーの再発防止策で不適切なもの	基本	42-A-023
【176】	4	p. 318	ハインリッヒの法則は「1:29:300の法則」とも言われる	必修	44-B-007
【177】	1	p. 319	医療事故と医療過誤の違いは“医療者の過失の有無”である	基本	44-A-023
【178】	2, 4	p. 319	標準予防策の骨格	基本	43-A-026
【179】	1	p. 319	空気感染を起こす微生物の選択	必修	43-B-007
【180】	2	p. 320	陰圧個室は主に空気感染能力が高い疾患の治療室として使用される	必修	46-B-003
【181】	1	p. 320	N95マスクを装着する必要がある感染症は？	基本	42-A-026
【182】	5	p. 321	飛沫感染が疑われる場合にはサージカルマスクを着用する		46-A-025
【183】	4	p. 321	針刺し事故への対応	必修	42-B-006
【184】	3	p. 322	安全装置付き静脈留置針は針刺し事故防止策として有用	必修	45-B-006
【185】	1	p. 322	惨事ストレスによる反応で躁症状は生じにくい		45-A-023
【186】	5	p. 323	惨事ストレスにおける「隠れた被災者」の背景要因	基本	42-A-020
【187】	1	p. 323	デフュージングは惨事ストレスに伴うストレス発散を目的に曝露後早期に行う	基本	44-A-022
【188】	1	p. 324	デフュージングは悲惨な事故や災害に対応した直後に行う		46-A-023
【189】	4	p. 326	バイタルサインの適切な評価方法は？	基本	44-A-035
【190】	4	p. 326	救急現場活動で聴取する現病歴の理解	必修	43-B-015
【191】	2	p. 327	打診により鼓音・濁音などが聴取できる	必修	44-B-011
【192】	3	p. 327	傷病者観察における第一印象とは？	基本	44-A-021
【193】	5	p. 328	上気道閉塞時に特徴的な呼吸所見	必修	43-B-012
【194】	2	p. 328	上気道閉塞は陥没呼吸が特徴である	必修	45-B-015
【195】	1	p. 329	異常な呼吸様式をきたす原因病態		43-A-050
【196】	2	p. 330	口すばめ呼吸を特徴とする病態は？		43-A-032
【197】	2	p. 330	下位頸髄完全損傷に伴う呼吸様式	必修	42-B-008
【198】	4	p. 330	死戦期呼吸は心停止の直前または直後にみられる	必修	44-B-017
【199】	3	p. 331	上気道閉塞により陥没呼吸がみられる	必修	46-B-011
【200】	2	p. 330	大孔ヘルニア—延髄への圧迫—失調性呼吸の流れを理解する	基本	44-A-037

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【201】	1	p. 332	奇異呼吸は胸壁の一部が周囲と連続性を失った場合にみられる		46-A-027
【202】	4	p. 332	呼吸期と無呼吸期が交互に繰り返される病的な呼吸様式はチェーン・ストーク…		46-A-029
【203】	4	p. 332	年齢区分に合わせた心停止を判断する脈拍触知部位	基本	44-A-042
【204】	5	p. 333	頻脈を呈する疾患	基本	42-A-040
【205】	2	p. 333	除脳肢位の傷病者の運動による最良の応答 (M) は？	基本	43-A-035
【206】	2	p. 333	除脳硬直の GCS スコアは何点か？	基本	45-A-031
【207】	3	p. 334	皮膚の観察所見と疾患・病態の関連についての設問は国試に必出する	基本	44-A-084
【208】	3	p. 335	蕁麻疹の特徴は？	基本	44-A-032
【209】	2	p. 335	瞳孔反応の機序と瞳孔所見の大切さ	難問	43-A-033
【210】	5	p. 336	メタンフェタミンは交感神経刺激作用を有する	基本	45-A-037
【211】	1	p. 336	眼瞼結膜の点状出血は溢血斑であり外傷性窒息の典型的症候の 1 つ	基本	46-A-099
【212】	5	p. 337	パンダの眼徴候は前頭蓋底骨折特有の所見である	基本	45-A-036
【213】	2, 5	p. 337	心音, 呼吸音, 腸雑音, コロトコフ音の観察は聴診器を用いる		46-A-039
【214】	4	p. 338	ばち指は気管支拡張症・間質性肺炎・肺癌の症候として記憶する		44-A-073
【215】	4	p. 338	「神経麻痺」と「運動失調」は厳密に区別できなければならない	基本	42-A-063
【216】	2	p. 339	企図振戦をきたす病変部位	基本	42-A-028
【217】	1	p. 339	神経系疾患や精神障害時に出現する言語や行動にかかわる医学用語に慣れる		42-A-078
【218】	1	p. 339	パレー徴候では麻痺側の上肢は回内して次第に落ちてくる	基本	45-A-062
【219】	1	p. 340	大脳半球に生じた病変は脳卒中スケールで確認することができる	基本	46-A-069
【220】	2	p. 341	緊急度・重症度の概念	基本	42-A-032
【221】	3	p. 341	緊急度判定における「準緊急」に該当する識別色	基本	42-A-038
【222】	5	p. 342	緊急度判定プロトコルには「黒」はない	基本	44-A-034
【223】	5	p. 342	上気道閉塞は生理学的評価で「ロードアンドゴー」に該当する	基本	45-A-027
【224】	5	p. 343	現場トリアージの原則はアンダートリアージ率を低く抑えること	基本	45-A-029
【225】	4	p. 344	過度なオーバートリアージは高次医療機関の人的資源・医療物資の有効活用…		46-A-043
【226】	5	p. 344	救急資器材の測定原理	基本	42-A-035
【227】	2	p. 345	パルスオキシメータは“経皮的動脈血酸素飽和度”を測定する機器である	必修	46-B-012
【228】	5	p. 345	パルスオキシメータの脈波は動脈血の吸光度の変動成分である		43-A-043
【229】	5	p. 346	SpO ₂ 値の測定が困難になる病態	必修	43-B-016
【230】	1	p. 346	パルスオキシメータの測定原理を理解する	基本	44-A-070
【231】	1	p. 347	パルスオキシメータの波形から考えられる不整脈の読み取り	必修	44-B-013
【232】	5	p. 348	SpO ₂ 値は血中ヘモグロビンの吸光度に影響を受ける	基本	45-A-042
【233】	2	p. 349	カプノメータでは評価できないもの	基本・重要	42-A-030
【234】	3	p. 349	正常なカプノグラムの呼気相	基本	43-A-041
【235】	5	p. 350	カプノメータは ROSC の検知に活用できる	必修	44-B-010
【236】	5	p. 351	PETCO ₂ は胸骨圧迫の効率を反映する	基本	45-A-034
【237】	1	p. 351	PETCO ₂ は胸骨圧迫の効率を反映する		46-A-040
【238】	3	p. 352	カプノグラムで二酸化炭素分圧が最も高くなるのは呼気終末である	必修	45-B-016
【239】	1	p. 352	ベル面は低調音の音を聴くのに適する	必修	46-A-030
【240】	4	p. 353	外耳道の開口方向とイヤピースの方向を合わせる	基本	45-A-035
【241】	2	p. 353	聴診器のベル面は何の音を聴取するのに適しているか？	基本	44-A-031
【242】	1	p. 354	聴診器の正しい取扱い方法	基本	42-A-042
【243】	2	p. 354	呼吸音の左右差を確認するためには両腋窩部を聴診する	必修	46-B-014
【244】	2	p. 354	オシロメトリック法自動血圧計の測定に影響を与える要因	必修	42-B-014
【245】	5	p. 355	オシロメトリック法は動脈壁の振動をセンサーでとらえる測定方法である		46-A-032
【246】	4	p. 355	触診法は聴診法と比べて低く測定されることが多い	必修	45-B-008
【247】	5	p. 355	基線の変動は電気抵抗が高くなって生じやすい	基本	45-A-038
【248】	4	p. 356	標準単極胸部誘導の装着部位	基本	42-A-041
【249】	4	p. 356	心電図モニター誘導	必修	43-B-009
【250】	4	p. 356	標準単極胸部誘導で第 5 肋間鎖骨中線に装着する電極は？	基本	44-A-033

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【251】	2	p. 357	基線の小刻みな揺れは交流障害が傷病者の筋電図混入が原因である		46-A-036
【252】	5	p. 357	実測式は予測式と比べて測定時間が長いが正確な体温が表示される	基本	45-A-039
【253】	3, 5	p. 357	鼓膜体温計の測定原理と測定における注意点	基本	43-A-039
【254】	5	p. 358	保管場所の湿度は鼓膜体温計の測定原理を妨げるものではない		46-A-038
【255】	3	p. 358	血糖測定に影響を与える因子に環境温度がある	基本	45-A-040
【256】	1	p. 359	血糖測定の適応	必修・頻出	42-B-018
【257】	3	p. 359	血糖測定の適応はJCSⅡ桁以上を目安とする	必修	44-B-009
【258】	4	p. 359	血糖測定時の注意点	頻出	42-A-034
【259】	5	p. 360	血糖測定時の穿刺部位の第一選択は？	必修	42-B-009
【260】	5	p. 360	穿刺後に十分な血液が得られない場合の対応	頻出	43-A-042
【261】	2	p. 360	血糖測定を行う際のアルコール消毒で注意すべき点	基本	44-A-029
【262】	3	p. 361	一度使用した針は再使用せず新しい穿刺針を使用する	必修	46-B-013
【263】	2	p. 361	各種気道確保器具の合併症で誤っているのは？	基本	43-A-038
【264】	5	p. 362	トリプルエアウェイマニューバーは開口・下顎挙上・頭部後屈を併用した気…	基本	45-A-043
【265】	2	p. 362	経鼻エアウェイの適応	必修	43-B-011
【266】	2	p. 362	抗凝固薬を服用している場合は出血させると止血困難になる	必修	46-B-015
【267】	1	p. 363	意識のない気道異物の傷病者に対しては直ちに胸骨圧迫を行う	必修	44-B-015
【268】	5	p. 363	異物による上気道閉塞をきたした傷病者に対して最初に行うべき対応は？		43-A-116
【269】	1	p. 363	構造にカフが付いていない声門上気道デバイス	基本	42-A-027
【270】	3	p. 364	成人女性に対する気管内チューブの標準サイズは7.0である	必修	45-B-013
【271】	1	p. 364	喉頭展開時に視認できる解剖学的構造	難問	43-A-037
【272】	5	p. 364	気管挿管のために喉頭鏡のブレード先端はどこに挿入するか？	必修	44-B-008
【273】	2	p. 365	救急救命士が気管挿管を試みるのはコーマックグレードⅠに限る	必修	46-B-017
【274】	3	p. 365	ビデオ硬性喉頭鏡を用いた気管挿管の適応は？	基本	44-A-041
【275】	5	p. 366	新型コロナウイルス感染症で酸素投与が必要なのは“中等症Ⅱ”である	基本	45-A-033
【276】	2	p. 366	酸素ボンベの使用可能時間は酸素残量を酸素流量で割る	基本	45-A-028
【277】	4	p. 367	吸入酸素濃度を100%にできる酸素投与方法は？	基本	43-A-028
【278】	4	p. 367	リザーバ付きフェイスマスクは高濃度の酸素供給が可能である	基本	44-A-038
【279】	3	p. 368	デマンドバルブは傷病者の吸気努力により100%酸素濃度を供給できる	必修	45-B-014
【280】	4	p. 368	頸髄損傷による呼吸抑制をきたした傷病者への対応	必修	42-B-025
【281】	3	p. 369	過剰な換気は胸腔内圧を上昇させる	必修	45-B-012
【282】	2	p. 369	「JRC蘇生ガイドライン2020」に準拠した胸骨圧迫	基本	43-A-030
【283】	3	p. 370	成人と乳児で共通している一次救命処置は？	必修	44-B-012
【284】	4	p. 370	VF/無脈性VTは電気ショックの適応である	必修	46-B-010
【285】	4	p. 371	救急救命士が行う心肺蘇生法	頻出	43-A-029
【286】	1	p. 371	ショック輸液の適応でない病態	基本	43-A-054
【287】	3	p. 372	成人への輸液に用いる輸液セットの滴数は？	必修	42-B-011
【288】	4	p. 372	静脈路確保で橈骨神経損傷を起こす危険性のある穿刺部位	必修	42-B-010
【289】	3	p. 373	救急救命士による1回あたりのアドレナリン投与量	基本・重要	42-A-037
【290】	4	p. 373	心停止傷病者に対するアドレナリン投与方法	必修	42-B-017
【291】	5	p. 373	アドレナリン投与の適応	基本	43-A-036
【292】	3	p. 374	アドレナリンを速やかに全身分布させる方法は？	必修	44-B-014
【293】	4	p. 374	救急救命士が行うブドウ糖溶液投与は“特定行為”である		46-A-034
【294】	1	p. 375	「血糖測定及び低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」標準プロトコール	必修	43-B-017
【295】	5	p. 375	救急救命士が投与するブドウ糖溶液の濃度は？	必修	44-B-018
【296】	3	p. 375	50%ブドウ糖溶液20mLの投与に費やす時間	基本	42-A-043
【297】	5	p. 376	膝屈曲位は腹壁の緊張を緩和することを目的とした体位である	必修	46-B-008
【298】	1	p. 376	膝屈曲位は腹壁の緊張を緩和する	必修	45-B-011
【299】	5	p. 377	足側高位(ショック体位)を行うべき病態	必修	43-B-010
【300】	3	p. 377	ターニケットによる止血処置のポイント	基本	44-A-043

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【301】	3	p. 377	切断指趾の取扱いは頻出である	基本	44-A-040
【302】	2	p. 378	SMRはすべての外傷傷病者に対して行われる処置ではない		46-A-033
【303】	5	p. 378	スクープストレッチャーはログロールを行うことなく骨盤骨折の傷病者を固定…		46-A-041
【304】	2	p. 379	車内分娩における臍帯切断方法	やや難問	42-A-075
【305】	1	p. 379	救急隊員による成人への一次救命処置	必修・重要	42-B-013
【306】	2, 4	p. 380	成人に対する適切なCPRを行うための重要なポイントは？	基本	44-A-039
【307】	2	p. 380	CPR中に目的のある仕草を認めたら胸骨圧迫を中止する	必修	46-B-009
【308】	3	p. 381	胸骨圧迫部位は全年齢共通で胸骨の下半分である		46-A-037
【309】	4	p. 381	小児傷病者に対する2人法の一次救命処置	基本	45-A-041
【310】	4	p. 382	乳児に対する心肺蘇生法	基本	42-A-036
【311】	4	p. 382	救急救命士が行う小児の心肺蘇生法	基本	43-A-034
【312】	5	p. 383	乳児に対する2人法のCPRは15対2で行う	必修	45-B-010
【313】	4	p. 383	開胸式心マッサージの適応	基本	42-A-029
【314】	2	p. 384	在宅酸素療法で使用する酸素濃縮器の取扱いの理解	基本	44-A-027
【315】	3	p. 384	在宅酸素療法を行っている傷病者の至適SpO ₂ 値は90%	必修	44-B-016
【316】	5	p. 385	慢性腎不全患者の呼吸困難の原因で最も可能性の高いものは？	必修	43-B-014
【317】	2, 5	p. 385	ポディメカニクスの基本	頻出・重要	42-A-031
【318】	1	p. 386	傷病者の移乗を前提としたポディメカニクスの基本姿勢	基本	44-A-028
【319】	5	p. 386	ポディメカニクスは救助者の身体的負担を軽減するための技術	必修	45-B-017
【320】	5	p. 387	ドクターヘリコプターによる傷病者搬送の注意点		43-A-040
【321】	1	p. 387	ヘリコプターの機体に近づくときはテールローター周辺には近づかない		45-A-032
【322】	5	p. 389	PaCO ₂ 値の上昇が酸塩基平衡異常をきたす仕組みを理解せよ		44-A-046
【323】	5	p. 390	呼吸運動を障害する原因部位		43-A-047
【324】	3	p. 391	肺胞低換気は低酸素血症をきたす原因病態の1つ	頻出	44-A-091
【325】	2	p. 392	低換気を生じる4つの発症原因と具体的な疾患を挙げることができるか		46-A-047
【326】	1	p. 392	低酸素血症は発症機序により3種類に分類できる	頻出	45-A-050
【327】	2	p. 393	肺内シャント増加が原因で低酸素血症をきたす疾患		42-A-054
【328】	2	p. 394	酸素化を障害する3種類の病態生理から低酸素血症の発症機序を考える		44-A-053
【329】	2	p. 395	高二酸化炭素血症の原因	必修	45-B-019
【330】	1	p. 396	換気機能障害の3型について		43-A-048
【331】	4	p. 396	心拍出量の低下は心不全を起こす代表的な病態である	重要	46-A-049
【332】	5	p. 397	肺うっ血とスターリングの原理	頻出	42-A-053
【333】	1	p. 397	左心不全における前負荷の影響とは	基本	43-A-051
【334】	5	p. 398	心不全傷病者で肺うっ血でみられる症候	基本	45-A-049
【335】	3	p. 399	体循環系のうっ血でみられる症候	必修	43-B-020
【336】	5	p. 399	右心不全を伴わない左心不全の症候		42-A-052
【337】	4	p. 400	心不全の病態は循環の3要素と心機能曲線とから考える		45-A-053
【338】	5	p. 401	左心不全は肺うっ血をきたすのでその症候の1つが泡沫状の血痰である	頻出	46-A-054
【339】	2	p. 401	感染の合併は慢性心不全を急性増悪させる	基本	44-A-048
【340】	1	p. 401	徐脈を伴うショックをきたす疾患の考え方	頻出	42-A-046
【341】	2, 4	p. 402	ショックの症候から原因を予想する	基本	43-A-052
【342】	3	p. 402	循環血液量の計算と推定出血量の計算方法		43-A-110
【343】	3	p. 403	大量出血に対する内分泌系の反応は？		42-A-047
【344】	3	p. 403	代償反応としてのレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系を理解する	重要	44-A-049
【345】	4	p. 404	投与された乳酸リンゲル液の体内分布	必修	43-B-019
【346】	1	p. 404	出血性ショックにおける内分泌系と交感神経系の反応は重要		45-A-051
【347】	1	p. 405	血管透過性の亢進をきたす疾患・病態を知る		45-A-052
【348】	3	p. 406	左心房圧を上昇させる要因を循環の3要素で考えよう	重要	44-A-047
【349】	3	p. 407	4種類のショックの発症機序と原因を明確にしておく	必修	46-B-019
【350】	1	p. 408	血液分布異常性ショックは他のタイプのショックとどう違うのか	必修・頻出	42-B-021

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【351】	3	p. 408	敗血症性ショックの初期は全身血管拡張と心拍出量増大が特徴である		46-A-048
【352】	5	p. 409	アナフィラキシーでは全身性の激しいアレルギー反応が起こる	必修	45-B-020
【353】	1	p. 409	意識と意識障害	やや難問	43-A-049
【354】	2	p. 410	JCSとGCSは意識の明瞭度(覚醒機能の障害の程度)を判定している		46-A-051
【355】	3	p. 410	高度の低血糖が数時間以上続くと回復不能な脳障害を生じる		46-A-046
【356】	2	p. 411	一次性脳病変と二次性脳病変の症候の違いは正反対	基本	44-A-057
【357】	4	p. 411	脳血流を増加させる原因病態とは?	頻出	42-A-050
【358】	2	p. 411	慢性頭蓋内圧亢進の三徴		42-A-051
【359】	3	p. 412	頭蓋内圧亢進によるクッシング徴候は国試に必出	必修・頻出	44-B-020
【360】	5	p. 412	頭蓋内圧を上昇させる要因を知ること	基本	44-A-051
【361】	1	p. 413	頭蓋内圧を上昇させる因子を傷病者からできるだけ排除することが望ましい	必修	46-B-021
【362】	1	p. 413	鉤回ヘルニアで出現する徴候を時間経過とともに理解する	頻出	45-A-046
【363】	4	p. 414	目撃のある心原性心肺停止傷病者の統計(救急蘇生統計)の現況	基本	44-A-050
【364】	3	p. 414	院外心停止の原因で最も多いのは心原性である	必修	46-B-020
【365】	1	p. 415	心肺停止蘇生後の傷病者の日常的・社会的機能をカテゴリー分類する		44-A-054
【366】	2	p. 415	心肺停止傷病者の転帰・予後(生活の質)の評価は1か月後に行われる		46-A-050
【367】	3	p. 416	突然の心室細動による心停止発生直後は脳を含む臓器の酸素化状態は良好である	必修	45-B-021
【368】	5	p. 416	低心拍出量による心肺停止の原因疾患	必修	42-B-019
【369】	1, 5	p. 417	心筋の低酸素状態の経過時間が心拍再開の可能性を低くする		45-A-048
【370】	3	p. 418	心肺停止の原因解除が救急救命士に可能か否かを判断する	必修	44-B-019
【371】	5	p. 419	胸骨圧迫の効果の増強因子となるもの	基本	42-A-048
【372】	3	p. 420	心肺停止時の体内の酸素化状態は予後を決定する	基本	43-A-053
【373】	1	p. 420	胸骨圧迫中の冠循環と脳循環の理解が重要	頻出	44-A-052
【374】	5	p. 421	心肺蘇生中の冠灌流圧	頻出	43-A-046
【375】	3	p. 421	胸骨圧迫解除時に冠血流は最大となる	基本	45-A-047
【376】	4	p. 423	二次性脳病変による意識障害の発症機序に注目	必修	42-B-020
【377】	4	p. 423	一次性脳病変とは何か	必修	43-B-021
【378】	4	p. 423	頭蓋内に原因があるものは一次性脳病変による意識障害という		46-A-067
【379】	4	p. 424	二次性脳病変による意識障害		42-A-070
【380】	3	p. 424	意識障害をきたす疾患の特徴的な神経所見		42-A-071
【381】	1	p. 425	意識障害をきたす疾患とその随伴症状の組合せ問題は国試の定番		45-A-056
【382】	2	p. 426	「救急救命処置の範囲」には具体的にどのような処置があるかを確認する		46-A-064
【383】	5	p. 426	三環系・四環系抗うつ薬中毒では心室頻拍など不整脈が出現する	やや難問	45-A-066
【384】	4	p. 427	バイタルサインの観察時に徐脈に気づいた場合には注意が必要		44-A-068
【385】	3	p. 428	体温異常を伴う意識障害の原因		43-A-068
【386】	5	p. 428	脳疾患による失語と精神障害の症候との違い	難問	43-A-087
【387】	3	p. 429	意識障害は意識の明瞭度の障害であり、判別を要する病態に注意する		45-A-054
【388】	3, 4	p. 429	閉じ込め症候群の意思疎通の方法		43-A-055
【389】	4	p. 429	くも膜下出血が疑われる場合は再出血を予防するため強い刺激は避ける	必修	45-B-022
【390】	2	p. 430	頭蓋内で疼痛を感じるのは硬膜など髄膜と血管である。脳実質には痛覚はない		46-A-058
【391】	3	p. 430	3種類の一次性頭痛の特徴は国試に頻出する	頻出	44-A-056
【392】	2	p. 431	女性に多い片頭痛は特徴ある前兆や症候を呈する		45-A-089
【393】	5	p. 431	頭痛の発症様式は緊急度判断に重要	頻出	43-A-067
【394】	4	p. 432	片頭痛に伴う症候(随伴症候)	頻出	42-A-069
【395】	2 or 5	p. 432	←解説参照 眼瞼下垂は動眼神経麻痺が原因	難問	44-A-065
【396】	5	p. 433	頭痛を伴う片側性眼痛は緑内障発作の症状の1つである		45-A-072
【397】	2	p. 433	頭痛は頭蓋内圧亢進でのクッシング徴候(血圧上昇・徐脈)に伴伴する	基本	46-A-055
【398】	3	p. 433	全身性痙攣中の傷病者の病態と徴候		43-A-059
【399】	2	p. 434	全身性痙攣が招く生体反応を考えることで正答は明らかである		45-A-069
【400】	2	p. 434	5分以上持続する全身性痙攣は緊急度の高い痙攣重積状態である	必修	44-B-023

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【401】	5	p. 435	痙攣重積状態とは痙攣が5分以上あるか、繰り返す発作の間、意識障害が持続…	必修	46-A-065
【402】	5	p. 435	全身性痙攣を起こした傷病者への対応	基本	42-A-059
【403】	3	p. 435	四肢麻痺は脳幹病変または頸髄完全損傷(横断損傷)で出現する		46-B-022
【404】	3	p. 436	交叉性麻痺をきたす病変部位は橋にある	必修・難問	43-B-023
【405】	1	p. 436	脳幹出血(橋出血)は深昏睡・両側縮瞳・四肢麻痺が特徴	必修	44-B-025
【406】	3	p. 436	四肢麻痺をきたす頭蓋内出血は脳幹		42-A-056
【407】	5	p. 437	選択肢左欄の症候が右欄の疾患(運動麻痺をきたす)に合致するかを判断する		45-A-061
【408】	2	p. 437	運動麻痺の種類と原因疾患・障害部位を確実に理解する	必修	42-B-023
【409】	4	p. 438	小脳失調は体幹部の動揺(姿勢制御できない)と歩行障害(失調歩行)		44-A-059
【410】	5	p. 438	めまいは末梢性か、中枢性かの判別が大切で、搬送先医療機関が違う	頻出	44-A-063
【411】	3	p. 439	正答は簡単だが選択肢の症候についても学習しよう	頻出	45-A-071
【412】	5	p. 439	失神性めまいの原因疾患	頻出	42-A-067
【413】	4	p. 440	めまいが失神の前兆として起こるとき失神性めまいという		46-A-063
【414】	2	p. 440	蝸牛症状に含まれるもの	基本	42-A-097
【415】	1	p. 441	めまいの原因となる小脳出血	頻出	43-A-064
【416】	4	p. 441	呼吸困難の判別方法	やや難問	43-A-057
【417】	5	p. 442	呼吸性呼吸困難一吸うは易く、吐き出し難い	頻出	42-A-066
【418】	2	p. 442	上気道狭窄と吸気性呼吸困難は必須の知識	必修・頻出	42-B-022
【419】	5	p. 442	呼吸音の異常の種類(喘鳴、ラ音、摩擦音)とその原因疾患は国試に必出	基本	44-A-060
【420】	4	p. 443	奇脈は、たまに国試の選択肢に含まれることがある。発症機序を知ろう		45-A-059
【421】	4	p. 444	呼吸困難はその随伴症候によって緊急度・重症度を判断する		46-A-071
【422】	3	p. 445	大量咯血をきたす頻度が高い疾患は？	基本	42-A-061
【423】	3	p. 445	咯血の2大原因と搬送時の留意点		43-A-065
【424】	3	p. 445	失神の原因としての薬剤	頻出	43-A-066
【425】	2	p. 446	神経調節性失神は日常の行為や心理的ストレスが誘因となる	必修	43-B-022
【426】	5	p. 446	心血管系疾患や不整脈を原因とする失神は重症度が高く生命にかかわる		46-A-070
【427】	4	p. 447	発症状況から心血管性失神(心原性失神)を予測する		42-A-058
【428】	1	p. 448	3種類の失神の分類とその原因は国試に頻出する	基本	44-A-072
【429】	2	p. 449	突然死をきたす可能性がある失神は心血管性失神である		45-A-055
【430】	1	p. 449	神経調節性失神には発症の誘因がある	基本	44-A-055
【431】	5	p. 450	胸痛における痛みの伝導路と疾患の関係	頻出	43-A-063
【432】	5	p. 450	狭心痛の表現は傷病者によってさまざまである	難問	43-A-072
【433】	3	p. 451	急性心筋梗塞と急性大動脈解離による胸痛の特徴は重要！	頻出	45-A-064
【434】	3	p. 451	胸痛の性状を問うことが緊急度の判断に有用である		46-A-056
【435】	1	p. 452	深呼吸で痛みが増すのは胸膜が擦れあうからである		44-A-071
【436】	4	p. 452	発症の仕方や随伴症候から胸痛の原因疾患を考える	頻出	42-A-062
【437】	2	p. 453	胸痛をきたす疾患はそれぞれの特徴的な随伴症候で区別可能である		45-A-065
【438】	4	p. 454	傷病者が訴える胸痛の表現方法から「胸痛の3大疾患」を見逃さないこと		46-A-059
【439】	5	p. 456	緊急度・重症度が高い胸痛の特徴を知っておく	重要	44-A-066
【440】	5	p. 457	始まりと終わりがはっきりした短時間の動悸(不整脈)	頻出	42-A-064
【441】	5	p. 457	傷病者が示す洞頻脈による脈拍異常の表現		43-A-061
【442】	2	p. 458	動悸を具体的な症状としてとらえると原因疾患が予想できる		45-A-063
【443】	4	p. 458	発作性上室頻拍は国試の定番出題		46-A-068
【444】	2	p. 459	動悸に伴う失神は心肺停止の原因となる	基本	43-A-062
【445】	4	p. 459	疾患には好発年齢や性差があることを考慮して傷病者のイメージをもつ		44-A-064
【446】	4	p. 460	「女性の下腹部痛」の緊急度判断では卵巣腫瘍捻転を念頭に置く		44-A-075
【447】	5	p. 460	急性心筋梗塞による胸痛は上腹部に放散する		46-A-062
【448】	4	p. 461	腹部疾患では腹部触診による疼痛部位の明確化が疾患を予想させる	必修	46-B-023
【449】	2, 5	p. 462	アルコール依存症の傷病者に生じる腹痛		42-A-057
【450】	2	p. 463	腹痛傷病者では既往歴との関連をもつ疾患を念頭に置く	基本	45-A-057

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【451】	4	p. 464	筋性防御は壁側腹膜に炎症が波及していることを示す徴候である	必修	45-B-023
【452】	4	p. 464	心窩部痛は重篤な疾患が隠されていることがあるので随伴症候に注目する		45-A-067
【453】	1	p. 465	タール便はトライツ靱帯より口側の上部消化管からの出血を意味する	頻出	44-A-058
【454】	5	p. 465	吐血の発症状況と性状による原因の予測		43-A-056
【455】	2	p. 466	下痢や下血時の便の性状と特定の疾患との関連性	頻出	42-A-072
【456】	3	p. 466	下血の性状から特定の疾患を推定する問題は国試に頻出する	頻出	46-A-057
【457】	1	p. 467	下血傷病者における立ち眩みは隠された循環血流量減少を示す		45-A-068
【458】	5	p. 467	下肢への放散痛を伴う腰背部痛の原因は？		42-A-055
【459】	3	p. 468	背部痛をきたす重大な疾患として急性大動脈解離と急性心筋梗塞が重要		45-A-060
【460】	5	p. 468	移動する胸背部痛は急性大動脈解離の特徴的症候。国試必出	必修	44-B-022
【461】	4	p. 469	シバリングは感染症の重症化を意味する		43-A-070
【462】	5	p. 469	発熱と高体温には体温調節機能が正常か異常かの違いがある		46-A-072
【463】	3	p. 470	発熱は病気で出現し、高体温は環境障害や急性中毒で出現する	基本	45-A-070
【464】	4	p. 470	発熱は体温調節中枢による合目的な生体反応。高体温は機能障害が原因		44-A-062
【465】	2	p. 470	悪寒戦慄を伴う発熱傷病者への体温管理	基本	42-A-060
【466】	3	p. 472	脳梗塞に対する血栓溶解療法の適応には時間的制約がある		45-A-097
【467】	3	p. 472	出血の対側の片麻痺と病巣に向かう共同偏視は被殻出血の重要な症候	頻出	42-A-077
【468】	2	p. 473	脳出血は危険因子と出血好発部位と部位別症候の特徴(国試頻出)が重要		44-A-074
【469】	3	p. 473	一過性脳虚血発作は意識障害はないが、脳梗塞の前触れ		43-A-093
【470】	2	p. 474	くも膜下出血の疫学、原因、病態、症候はまんべんなく学んでおくのがよい		45-A-058
【471】	2	p. 475	髄膜炎の症候に伴わないのはどれか？	頻出	42-A-068
【472】	1	p. 475	ウイルス性疾患は感冒様の症状が先行することが多いので初発症状は発熱		45-A-077
【473】	3	p. 476	発熱・頭痛・嘔吐・意識障害は脳炎の特徴的症候である		46-A-090
【474】	5	p. 477	ギラン・バレー症候群は特徴的な発症様式がある		46-A-078
【475】	3	p. 477	てんかんは痙攣の原因の1つ。症候性てんかんは脳疾患が原因		44-A-069
【476】	4	p. 478	中枢神経系の変性疾患ではパーキンソン病とアルツハイマー病が大事		44-A-092
【477】	5	p. 478	パーキンソン病は極めて特徴的な臨床症候を呈する		46-A-073
【478】	1	p. 479	喉頭蓋炎による腫脹と疼痛はどのような症候をきたすのか	頻出	42-A-083
【479】	2	p. 479	急性喉頭蓋炎は声門付近に強い狭窄を生じ特徴的な症候を呈する	頻出	45-A-096
【480】	4	p. 480	喘息発作の緊急度は心停止が切迫しているか否かで判断する		46-A-086
【481】	5	p. 481	呼気延長は呼出障害をきたす疾患に特有の症候である		46-A-066
【482】	1	p. 482	COPDは特徴的な病態を踏まえて覚えておくべき症候も多い		46-A-080
【483】	2, 4	p. 483	自然気胸の観察所見		42-A-081
【484】	4	p. 483	肺炎の発症状況から呼称はさまざまである		43-A-075
【485】	3	p. 484	結核のキーワードは微熱・空気感染・血痰である	頻出	45-A-083
【486】	4	p. 484	自然気胸は痩せた若い男性に生じやすい	必修	45-B-026
【487】	2	p. 485	(緊張性)気胸は陽圧呼吸によって悪化する	重要	46-A-053
【488】	5	p. 485	呼吸性アルカローシスによる低カルシウム血症		42-A-084
【489】	2	p. 486	PaCO ₂ の減少は換気過剰(頻呼吸や過換気)を生じる原因を考える		46-A-045
【490】	1	p. 486	アテローム性動脈硬化は各種の重篤な疾患の発症に関与している		45-A-082
【491】	4	p. 486	急性心筋梗塞発症後の超早期死亡の原因は不整脈	必修	42-B-024
【492】	5	p. 487	危険性が高い(致死性)不整脈の名称と実際の波形は国試に最重要!	頻出	44-A-097
【493】	3	p. 487	容態変化があったら初期評価に戻る		46-A-028
【494】	1	p. 487	心筋炎の原因がウイルス感染にあることは国試に出題するほど重要か?		44-A-078
【495】	4	p. 488	VFに移行する危険な不整脈は3種類		42-A-049
【496】	4	p. 489	QT延長症候群は薬剤でも発症する		43-A-078
【497】	1	p. 489	心電図の基本波形の成分	必修	42-B-015
【498】	3	p. 489	心電図の基本波形の電気生理学的意味を理解する	頻出	43-A-083
【499】	3	p. 490	発作性上室頻拍は突然始まり突然消失する頻拍発作が特徴である		46-A-091
【500】	2	p. 490	WPW症候群に特徴的な心電図波形はデルタ波		45-A-092

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【501】	3	p. 491	P波とQRS波との関連性やPQ間隔・R-R間隔に着目する		43-A-089
【502】	5	p. 491	心電図所見と胸痛の特徴から原因疾患を予測する		42-A-065
【503】	3	p. 492	急性心筋梗塞の心電図は経時的に変化する	難 問	42-A-076
【504】	5	p. 493	急性心筋梗塞発症後、心電図パターンは時間経過で変化する		46-A-096
【505】	1, 4	p. 494	急性阻血による徴候はコンパートメント症候群よりも急速である	頻 出	42-A-096
【506】	4	p. 494	合併症として心タンポナーデをきたす疾患	必 修	45-B-025
【507】	3	p. 495	急性大動脈解離による重大な合併症はショックと臓器虚血である		46-A-077
【508】	2	p. 496	肺血栓塞栓症は国試に頻出する疾患	頻 出	43-A-095
【509】	2, 3	p. 496	下肢深部静脈血栓症は発症の危険因子が重要		42-A-092
【510】	5	p. 496	食道静脈瘤の傷病者にみられる腹部所見	必 修	42-B-016
【511】	1	p. 497	救急領域での3種類の食道疾患の発症要因と症候は重要		44-A-087
【512】	4	p. 497	胃・十二指腸潰瘍は発症原因は同じだが、症状の出方が少し異なる	頻 出	44-A-088
【513】	5	p. 497	加熱処理不足の海産魚類の摂取後、数時間で発症。2回目以後は蕁麻疹を伴う		46-A-074
【514】	1	p. 498	絞扼性イレウスの判別方法		43-A-077
【515】	4	p. 498	腸閉塞は腸管内腔の閉塞のこと。イレウスは腸管麻痺のこと		44-A-067
【516】	3, 4	p. 499	急性虫垂炎に特徴的な圧痛部位	基 本	43-A-031
【517】	2	p. 500	下部消化管穿孔の原因は大腸穿孔を考える	基 本	43-A-060
【518】	1	p. 500	急性ウイルス性肝炎の3型は症候や臨床経過が異なるので区別する		42-A-080
【519】	4	p. 500	肝硬変による門脈圧亢進症の発症機序とその症候		45-A-087
【520】	2	p. 501	門脈圧亢進症は側副血行路として食道静脈瘤・メズサの頭・痔核を形成する		46-A-094
【521】	2	p. 502	胆石症は国試に頻出する疾患。すべてを覚える	頻 出	43-A-092
【522】	5	p. 502	急性膵炎の原因と症候の特徴は必須の知識	基 本	44-A-061
【523】	2	p. 503	補助腎臓療法は2種類ある		43-A-085
【524】	3	p. 503	尿管結石は痙攣と観察所見で推定できる		43-A-071
【525】	2	p. 504	尿管結石といえば血尿、血尿といえばまず尿管結石	基 本	44-A-093
【526】	1	p. 504	性器クラミジア感染症はわが国で最も多い性感染症である		45-A-093
【527】	4	p. 505	クラミジアなどの逆行性感染による骨盤腹膜炎は若年女性の下腹部痛をきたす		46-A-082
【528】	5	p. 505	あまり知られていない疾患。国試に初出		42-A-088
【529】	5	p. 506	1型糖尿病と2型糖尿病との違いは重要である。国試に頻出！	頻出・重要	44-A-090
【530】	5	p. 506	ホルモンはそれに対する受容体をもつ標的臓器に作用して効果を発揮する		45-A-079
【531】	5	p. 507	糖尿病治療中の傷病者に起こる低血糖に注意		42-A-085
【532】	3	p. 507	糖尿病治療中の傷病者は高血糖より低血糖の危険が高い	必 修	46-B-026
【533】	5	p. 508	低血糖では血糖値レベルに応じて段階的に症候が現れる		46-A-089
【534】	1	p. 508	高浸透圧高血糖症候群の特徴		43-A-076
【535】	3	p. 509	低張性脱水による症候は高張性脱水と対比させて理解する	重 要	42-A-074
【536】	2, 4	p. 509	←解説参照 嘔吐は胃酸の喪失にほかならず代謝性アルカローシスを起こす		44-A-080
【537】	4	p. 510	アルカローシスとなる病態	基 本	43-A-013
【538】	4	p. 510	痛風と腎障害について		43-A-080
【539】	3, 5	p. 510	ビタミン名とその欠乏症との関連は簡単なので間違えないように		42-A-086
【540】	3	p. 511	ビタミンとその欠乏症は一部を除けば暗記するしかないか？		45-A-076
【541】	3	p. 512	出血性素因は血管壁異常・血小板数減少・凝固因子欠乏・線溶系亢進が原因		46-A-085
【542】	4, 5	p. 513	血液酸素含有量はヘモグロビン濃度と酸素飽和度で決定される		43-A-081
【543】	5	p. 513	貧血の症状は酸素供給量の減少と代償反応の2つの機序で生じる	必 修	43-B-024
【544】	3	p. 513	貧血は血液希釈による症状と代償機転による症候が混在する	必 修	44-B-026
【545】	4	p. 514	息切れは貧血による酸素供給量低下に対する呼吸性代償機序による症候		45-A-094
【546】	4, 5	p. 514	アナフィラキシーの発症誘因と病態、症候は重要	重 要	43-A-091
【547】	5	p. 514	アナフィラキシーの発症機序、症候の特徴は国試に頻出	頻 出	44-A-095
【548】	5	p. 515	アナフィラキシーはアレルギーとしての症候を伴う	必 修	44-B-021
【549】	5	p. 515	エピペン®使用の適応となる症候を見逃すな。注射を躊躇すべきではない		45-A-095
【550】	5	p. 515	椎間板ヘルニアの症候は左右片側に起こる		44-A-082

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【551】	4	p. 516	腰椎椎間板ヘルニアは急性腰痛症との区別が重要である		45-A-074
【552】	2, 3	p. 517	腰部脊柱管狭窄症も閉塞性動脈硬化症も間欠性跛行がある		42-A-091
【553】	5	p. 517	間欠性跛行は腰部脊柱管狭窄症と閉塞性動脈硬化症の特徴的症状		46-A-061
【554】	5	p. 518	化膿性と書かれた病名はすべて細菌感染によるもの		43-A-094
【555】	5	p. 518	国試に出題される可能性が高い関節炎である	頻 出	45-A-080
【556】	2, 5	p. 518	化膿性膝関節炎は単独で出題されることが多い		46-A-079
【557】	5	p. 519	損傷による皮膚欠損は続発疹としての表皮剥離・びらん・潰瘍・瘢痕を形成する		46-A-088
【558】	2	p. 519	皮疹は原発疹と続発疹とに分けられる	基 本	45-A-078
【559】	4	p. 520	突然発症の視覚障害は眼痛を伴うか否かが判別に重要	頻 出	43-A-096
【560】	2, 5	p. 520	わが国の結核事情	基 本	42-A-094
【561】	5	p. 521	五類感染症は定点把握感染症として流行状況など動向調査が行われる		44-A-076
【562】	5	p. 521	世界的感染拡大(パンデミック)をきたす要因はヒトである		43-A-088
【563】	2	p. 521	食中毒は、毒素型と感染型で病原菌が違う	頻 出	44-A-081
【564】	5	p. 522	病原菌を毒素型と感染型に分類することで潜伏期の長短の判断になる	基 本	42-A-079
【565】	2	p. 523	デング熱は熱帯・亜熱帯地方に生息する蚊が媒介するウイルス感染症である		46-A-097
【566】	5	p. 523	コロナウイルスによる感染症	やや難問	45-A-086
【567】	4	p. 524	水痘は種々の相の皮疹が混在することが特徴である		46-A-031
【568】	2	p. 525	破傷風は日常生活に潜む重症感染症であり汚染創の創処置と予防が重要		46-A-083
【569】	3	p. 526	中枢神経系は生後から急速に発育・成長し10歳前後でほぼ成人に近くなる		46-A-093
【570】	1	p. 526	血圧は6歳前後で成人と同様になるといわれている	必 修	46-B-024
【571】	1	p. 527	小児の発達段階における特徴	基 本	42-A-087
【572】	3	p. 527	乳児の呼吸数の正常範囲	必 修	42-B-026
【573】	2	p. 527	小児期の年齢に応じた分類と、観察に際してバイタルサインの正常目安を知る		45-A-075
【574】	2, 5	p. 528	小児のバイタルサインの特徴	基 本	42-A-095
【575】	4	p. 528	強く激しく泣く乳幼児は一般状態がほぼ保たれていると判断する	必 修	45-B-024
【576】	3	p. 529	乳幼児JCSによる評価を覚えるには実際の現場での状況を想像することがよい		46-A-075
【577】	5	p. 529	熱性痙攣は単純型と複雑型を対比させて記憶すると理解しやすい		46-A-060
【578】	4	p. 530	単純型熱性痙攣と複雑型熱性痙攣の違い		43-A-090
【579】	5	p. 530	小児の細菌性およびウイルス性髄膜炎は国試によく出題される		44-A-085
【580】	3	p. 530	細菌性髄膜炎は肺炎球菌とHib菌による血行感染が多い		45-A-088
【581】	1	p. 531	小児の急性喉頭蓋炎は緊急度が高く、重要疾患。国試に必出	必 修	44-B-024
【582】	2	p. 531	腸重積の発症年齢・症候の特徴・予後について	必修・頻出	43-B-026
【583】	1	p. 531	突発性発疹は生後6か月～1歳児が罹る突然の高熱と解熱後の赤い発疹が特徴		45-A-091
【584】	5	p. 532	突発性発疹は生後6か月以後に発症する高熱と解熱後の発疹が特徴		46-A-076
【585】	4	p. 532	SIDSの疫学的知識を理解する		43-A-086
【586】	2	p. 533	SIDSの発症要因は疫学的事実に基づいている		44-A-089
【587】	3, 4	p. 533	被虐待児ではないか、と疑うための観察所見の知識は欠かせない		42-A-073
【588】	3	p. 534	被虐待児症候群の疫学的知識は重要	重 要	43-A-084
【589】	3	p. 534	高齢者搬送が増えているので加齢に伴う身体機能の変化は国試に出題される		44-A-077
【590】	5	p. 535	加齢に伴い基礎疾患保有率は高くなる	必 修	46-B-025
【591】	1	p. 535	高齢者への虐待は社会問題化しているため、実態を知る必要がある		45-A-085
【592】	3	p. 536	認知症には中核症状と行動と心理症状とがある		43-A-097
【593】	3	p. 536	認知症の中核症状は4つある	必 修	43-B-025
【594】	2	p. 537	傷病者への尊厳をもちつつ対象に応じたコミュニケーションを図る		46-A-092
【595】	1	p. 537	高齢者の急な環境変化(入院時など)に最も留意する病態		42-A-090
【596】	3	p. 538	高齢者特有の疾患には誘因がある		43-A-082
【597】	3	p. 538	妊娠週数と胎児体重の目安、分娩予定日の計算など		44-A-083
【598】	2	p. 539	分娩予定日の概算方法		43-A-074
【599】	3	p. 539	妊娠初期から中期で出血性ショックの危険がある病態を把握する		46-A-084
【600】	2	p. 540	妊娠高血圧症候群の定義と合併しやすい疾患について		42-A-082

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【601】	5	p. 540	常位胎盤早期剥離は胎児と母体両方に生命の危険を及ぼす		45-A-084
【602】	4	p. 541	分娩第1期・第2期・第3期の定義をしっかりと把握すること		46-A-095
【603】	5	p. 541	分娩直後の子宮収縮が不良であると持続的大量出血が起こり弛緩出血と呼ぶ		45-A-073
【604】	2	p. 542	分娩中に起こる呼吸困難と意識障害は重篤なサイン		43-A-073
【605】	2	p. 543	娩出直後に啼泣を認めない新生児への対応で優先すべきことは？	基本	44-A-036
【606】	2	p. 543	興奮した傷病者を鎮めるための対応	基本	43-A-079
【607】	1	p. 544	精神障害を正しく分類できないと正答できない	難問	44-A-096
【608】	2	p. 545	昏迷は精神障害による意思発動性の障害であり意識障害ではない		45-A-081
【609】	5	p. 545	自殺企図が疑われる傷病者へのコミュニケーションの要点	基本	44-A-094
【610】	4	p. 546	自殺企図の傷病者に対しては十分な知識をもって対応する必要がある		46-A-081
【611】	3	p. 547	アルコール関連障害の用語と特徴を理解する		46-A-087
【612】	2	p. 548	パニック発作は身体症状を伴う強い不安感が突然起こる		42-A-093
【613】	2	p. 548	パニック発作は短時間で軽快し、身体的異常はない		45-A-090
【614】	5	p. 548	解離性障害の傷病者にみられる特徴		43-A-058
【615】	5	p. 550	外傷の疫学と外傷システム	基本	42-A-114
【616】	5	p. 550	搬送人員の最も多い外傷の事故種別は？	基本	44-A-112
【617】	3	p. 551	早期外傷死は「防ぎ得た死」の大多数を占める		44-A-103
【618】	5	p. 551	トラウマ(外傷)バイパスの概念	必修	42-B-028
【619】	5	p. 552	開放性気胸はロードアンドゴーの適応である	必修	45-B-028
【620】	3	p. 552	高リスク受傷機転が疑われたら「ロードアンドゴー」を念頭に置く	必修	44-B-027
【621】	3	p. 553	介達損傷による大腿骨のらせん骨折		42-A-112
【622】	1	p. 553	体腔内で固定が緩い臓器が減速機序で損傷される		42-A-105
【623】	4	p. 554	間接的外力による脳損傷は角加速度機序(剪断力)による		45-A-098
【624】	2	p. 554	創傷と成傷器の組合せ	基本	42-A-107
【625】	3	p. 555	多発外傷の定義を明確にしておく		43-A-101
【626】	3	p. 555	創と傷とを使い分ける	基本	44-A-104
【627】	3	p. 556	損傷形態による分類と創傷の名称	基本	45-A-111
【628】	4	p. 556	銃創では空洞化現象により射入口よりも射出口のほうが損傷が大きい		46-A-114
【629】	4	p. 557	特殊な受傷機転と損傷臓器の関連	頻出	43-A-112
【630】	1	p. 557	爆発の第1段階は圧力波によって生じる鼓膜破裂や肺破裂である		46-A-106
【631】	1, 5	p. 558	ハンドル外傷は上腹部にある臓器損傷をきたす。解剖学的知識が重要		45-A-105
【632】	5	p. 559	生体侵襲時の代償反応にかかわるストレスホルモンと昇圧系	重要	43-A-113
【633】	1, 4	p. 560	不可逆性ショックと外傷死の三徴		42-A-113
【634】	4	p. 560	病院前医療で外傷死の三徴を防ぐ唯一の手段は低体温にさせないこと		44-A-101
【635】	3	p. 561	ショック→不可逆性ショック→外傷死の三徴→急性期死亡		45-A-108
【636】	1	p. 561	創傷治癒促進のために創傷周囲の湿潤を保つことが推奨される	必修	45-B-027
【637】	3	p. 562	出血性ショックの早期臨床徴候は脈圧の減少として現れる		46-A-105
【638】	4	p. 562	心外閉塞・拘束性ショックの原因は3つある	必修	43-B-029
【639】	2, 3	p. 563	緊張性気胸と心タンポナーデは常にその存在を心に留め置くこと	基本	44-A-102
【640】	5	p. 563	脊髄損傷では血管運動性交感神経の緊張低下がショックの原因である		45-A-101
【641】	3	p. 564	安全確認は傷病者接触前の状況評価で行う	必修	46-B-028
【642】	5	p. 564	状況評価は事故覚知から傷病者接触までに行う評価	必修	44-B-029
【643】	1	p. 565	初期評価の段階で気道に異常があれば直ちに気道確保を行う		46-A-108
【644】	3	p. 565	外傷の現場で初期評価と同時に行う処置	基本・重要	42-A-100
【645】	4	p. 566	緊張性気胸の症候は発症機序を理解すれば自ずと明確になる	必修	46-B-029
【646】	5	p. 566	重症外傷傷病者に対する初期評価および全身観察の手順の理解	基本	44-A-111
【647】	4, 5	p. 567	外傷傷病者に対する現場での対応と処置	頻出	45-A-104
【648】	3	p. 568	胸壁の皮下気腫が認められたらロードアンドゴーの適応である		46-A-112
【649】	3	p. 568	硬膜の破綻の有無が開放性と閉鎖性脳損傷の区別をする		44-A-108
【650】	5	p. 568	一次性脳損傷は治療により回復させることができない		42-A-106

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【651】	5	p. 569	PETCO ₂ (PaCO ₂) 値は高くても低くても二次性脳損傷を増悪させる…		46-A-101
【652】	1	p. 569	高次脳機能障害は認知機能障害を呈する		45-A-103
【653】	4	p. 570	慢性硬膜下血腫は高齢者、常習性飲酒者、抗凝固療法中の傷病者に多い		46-A-102
【654】	2	p. 570	急性硬膜外血腫の特徴は意識清明期があることである		43-A-100
【655】	5	p. 571	びまん性脳損傷の要約		43-A-109
【656】	2	p. 571	鼻骨骨折は顔面骨骨折のなかで最も多い		44-A-105
【657】	1	p. 571	眼窩吹き抜け損傷による眼症状は重要で、国試に頻出する	頻 出	43-A-106
【658】	2	p. 572	強い回旋外力によって頸椎では椎間関節脱臼が生じやすい	やや難問	45-A-109
【659】	5	p. 573	頸椎・頸髄損傷は国試に頻出する	頻 出	42-A-098
【660】	5	p. 574	頸髄完全損傷では呼吸筋麻痺・脊髄ショック・神経原性ショックと持続陰茎勃起が…		46-A-100
【661】	5	p. 575	損傷された頸髄節のレベルと上肢運動機能障害の関係	やや難問	43-A-069
【662】	4	p. 575	胸部外傷には多数の損傷形態があるのでそれぞれの詳細な知識をもつ		44-A-114
【663】	2, 5	p. 576	心タンポナーデの症候は国試に頻出！	頻 出	42-A-111
【664】	4	p. 576	心タンポナーデの症候は国試に頻出する	頻 出	43-A-104
【665】	5	p. 576	外傷性窒息の原因と症候発症機序を理解する	必 修	42-B-029
【666】	2	p. 577	胸部外傷は損傷臓器特有の病態と症候をもつ。組合せ問題は容易である		45-A-110
【667】	4	p. 577	腹部臓器損傷による病態		43-A-114
【668】	4	p. 578	腎臓損傷は後腹膜腔に巨大な血腫を形成する		45-A-106
【669】	1	p. 578	外傷後に出現する血液分布異常性ショックは大腸損傷(…略…)を疑う		43-A-108
【670】	3	p. 579	実際の傷病者の観察手順と方法を想定して訓練を重ねるしかない	基 本	44-A-099
【671】	4	p. 579	骨盤骨折は安定型と不安定型の見極めが重要。現場での対応が違う	重 要	44-A-107
【672】	5	p. 580	不安定型骨盤骨折は大出血を起こすので出題頻度が高い	頻 出	43-A-103
【673】	5	p. 580	骨盤専用固定具により止血が期待できる骨盤外傷	基 本	42-A-104
【674】	4	p. 580	骨盤骨折の現場処置と搬送の留意点は国試に頻出する	頻 出	43-A-105
【675】	4	p. 581	骨盤固定具の装着部位の目安は左右の大転子の高さである		45-A-099
【676】	5	p. 581	骨盤骨折が疑われる傷病者にはフラットリフトやログリフトを用いる		46-A-111
【677】	1	p. 582	両膝を内旋位にすることで骨盤容量が減少し骨盤固定の効果が増す		46-A-035
【678】	3	p. 582	一側の大腿骨骨折で1,000～2,000mLに及ぶ内出血をきたす		46-A-103
【679】	3, 5	p. 583	コンパートメント症候群の初期症状	基 本	42-A-101
【680】	2, 4	p. 583	コンパートメント症候群は発症からの症候に時間的順序がある	重 要	44-A-106
【681】	5	p. 583	四肢外傷の救急現場での処置は国試に頻出する	頻 出	43-A-099
【682】	1, 2	p. 584	小児に特徴的な四肢外傷	基 本	42-A-102
【683】	3	p. 584	小児外傷では気道開通の確認と損傷されやすい臓器・頻度の高い骨折を知っておくこと		45-A-102
【684】	4	p. 584	肘内障は2～6歳児に好発する橈骨頭の亜脱臼であり容易に整復できる		46-A-109
【685】	5	p. 585	乳幼児揺さぶられ症候群は角加速度機序による脳損傷の典型		44-A-098
【686】	3	p. 585	受傷した高齢者の特徴を理解しておく		42-A-109
【687】	1, 5	p. 586	高齢者の外傷は搬送頻度が高いのでその特徴をとらえておく	頻 出	43-A-102
【688】	4	p. 586	高齢者は転倒など軽微な外力で骨折しやすく、好発部がある		46-A-107
【689】	5	p. 587	高齢者の骨折は骨粗鬆症が基盤になっている。好発骨折がある	基 本	44-A-113
【690】	4	p. 587	妊娠後期の増大した子宮への圧迫だけではなく循環動態への影響も大きい		45-A-107
【691】	3	p. 588	一見してⅢ度熱傷と判断できる		45-A-113
【692】	3	p. 588	熱傷の評価方法	基 本	42-A-103
【693】	4	p. 588	熱傷の重症度を表す数値的指標に熱傷指数と熱傷予後指数がある	必 修	44-B-028
【694】	1	p. 589	顔面熱傷は熱傷深度、熱傷面積にかかわらず「重症」である	必 修	45-B-029
【695】	3	p. 589	浅達性と深達性に共通するのは“水疱形成”である	必 修	46-B-027
【696】	3	p. 589	皮膚徴候によって熱傷の到達深度を推定する	必 修	43-B-028
【697】	3	p. 590	9の法則による熱傷面積の算出	必 修	42-B-027
【698】	2	p. 590	熱傷の重症度の判断に熱傷面積の算出は必須		43-A-098
【699】	2	p. 590	9の法則による熱傷面積の計算は救急救命士必須の知識	基 本	44-A-100
【700】	4	p. 591	乳児熱傷では熱傷面積の算定は「5の法則」を用いるのがわかりやすい		46-A-113

No.	正答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【701】	4	p. 592	II度以上の熱傷で緊急度が高いと判断される部位は？	基本	44-A-110
【702】	5	p. 593	5つの観点(①気道管理, ②局所処置, ③保温, ④輸液, ⑤医療機関選定)を踏ま…		45-A-112
【703】	4	p. 594	熱傷傷病者への対応	基本	42-A-108
【704】	4	p. 595	酸やアルカリによる化学損傷は対比して覚えるとい		46-A-104
【705】	5	p. 596	強酸による化学損傷とフッ化水素酸の特殊性		43-A-111
【706】	3	p. 596	フッ化水素酸は皮膚粘膜から吸収され低カルシウム血症をきたす	頻出	45-A-100
【707】	5	p. 596	化学損傷による症候は化学物質によって特徴がある	頻出	42-A-110
【708】	1	p. 597	アルカリによる化学損傷の処置は汚染除去と大量の流水による洗浄	基本	44-A-109
【709】	5	p. 597	定型的絵顔の特徴をよく理解し非定形的絵顔や絞頸(扼頸)と区別で…		46-A-110
【710】	1	p. 598	動物咬傷の特徴を覚える		43-A-107
【711】	5	p. 598	マムシ咬症はコンパートメント症候群と出血毒による筋壊死を生じる		45-A-114
【712】	2	p. 598	マダニ咬傷による感染症	やや難問	42-A-099
【713】	5	p. 599	日本中毒情報センターへの問い合わせが最も多いのはたばこ関連品である		45-A-117
【714】	5	p. 600	薬物中毒についての総論的な知識を問う設問である		46-A-116
【715】	2	p. 602	毒物・薬物の投与経路による血中濃度の違い		43-A-119
【716】	1	p. 602	各種中毒に特有の症候	頻出	42-A-116
【717】	3	p. 603	頻出する中毒物質はその特徴的な症候を熟知する	頻出	44-A-117
【718】	1	p. 603	三環系抗うつ薬による心停止原因は心筋毒性による致死的不整脈の発生である		46-A-052
【719】	1	p. 604	ある種の中毒には特異的な拮抗薬がある		45-A-119
【720】	1	p. 604	ガス中毒は二次汚染に注意	必修	44-B-030
【721】	2	p. 605	一酸化炭素中毒傷病者への対応	必修	42-B-030
【722】	1	p. 605	塩素ガスと硫化水素は家庭での誤った使用で発生する危険がある		44-A-120
【723】	2	p. 606	急性エタノール中毒の症候はその血中濃度で決定される	必修	43-B-030
【724】	1	p. 606	覚醒剤は交感神経興奮作用がある	必修	46-B-030
【725】	5	p. 607	コカインの規制法律		43-A-045
【726】	5	p. 608	気道異物による窒息では気道の完全閉塞の症候を見逃してはならない		46-A-119
【727】	1	p. 608	常識で考えれば正答するのは易しい	基本	42-A-119
【728】	5	p. 609	気管の閉塞と気管支の閉塞とは症候がまったく異なる		44-A-115
【729】	4	p. 609	溺水について知っておくべき知識が選択肢によって試されている		46-A-115
【730】	2	p. 610	潜水反射の意味と臓器保護としての役割		43-A-117
【731】	4	p. 610	潜水反射は冷水への浸漬・浸水で生じ、高度徐脈と末梢血管収縮が同時に起…		45-A-120
【732】	3, 4	p. 610	高齢者に生じる熱中症の特徴		43-A-120
【733】	2	p. 611	III度熱中症の症候による判定は国試に頻出するので最重要である		46-A-120
【734】	2	p. 611	暑さ指数における厳重警戒の基準	基本	42-A-117
【735】	4	p. 611	熱中症の重症度分類と症候	頻出	42-A-120
【736】	1	p. 612	中枢神経障害を認める場合はIII度熱中症と判断する	必修	45-B-030
【737】	4	p. 612	WBGT 28℃を境に警戒と厳重警戒に分かれる		45-A-118
【738】	—	p. 612	不適切な出題		44-A-116
【739】	4	p. 613	β線は紙を透過するがアルミニウムなどの薄い板は透過しない	基本	44-A-119
【740】	5	p. 613	致死的な被ばく放射線量	基本	43-A-115
【741】	1	p. 613	致死的高線量被ばくによる急性期の症候とは	基本	42-A-115
【742】	2	p. 614	放射線の晩発障害には白内障、悪性腫瘍(白血病など)がある	基本	44-A-044
【743】	2	p. 614	放射線被ばくによる確率的影響とは？		42-A-045
【744】	3, 4	p. 615	放射線による確定的影響を防ぐために「放射線防護三原則」がある		45-A-115
【745】	4	p. 615	アラーム付き個人線量計は積算線量をリアルタイムに表示できる		46-A-118
【746】	5	p. 616	脳浮腫と肺水腫の出現は重症高山病で出現する		43-A-118
【747】	3	p. 616	水面への急速浮上で起こる減圧症と動脈ガス塞栓症とを区別する		44-A-118
【748】	2	p. 616	酸素濃度の安全限界	基本・重要	42-A-118
【749】	3	p. 617	凍傷の深度分類は加温後の所見と2~3週間後の状態によって判定する		46-A-117
【750】	1	p. 617	紫外線は角膜炎・結膜炎などの眼傷害を引き起こす		45-A-116